

PRIMERGY オプション製品

システム構成図 (留意事項編)

本文中のOS名称は、次のように略して表記します。

OS名	略称	
Windows Server® 2012 Standard	WS12S	Windows
Windows Server® 2012 Datacenter	WS12D	
Windows Server® 2012 Foundation	WS12F	
Windows Server® 2012 Essentials	WS12E	
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS11E	
Windows Server® 2008 R2 Standard	WS08RS	
Windows Server® 2008 R2 Enterprise	WS08RE	
Windows Server® 2008 R2 Datacenter	WS08RD	
Windows Server® 2008 R2 Foundation	WS08RF	
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	WS08S-64	
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	WS08E-64	
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	WS08D-64	
Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	WS08F-64	
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	WS08S-32	
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	WS08E-32	
Windows® Web Server 2008 R2	WS08RW	
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	WS08W-64	
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	WS08W-32	
Windows® HPC Server 2008 R2	WS08RH	
Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	WS08H-32	
Windows® Small Business Server 2008 Standard	SBS08S	
Windows® Small Business Server 2008 Premium	SBS08P	
Windows Server® 2003 R2 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03RS/Sx64	
Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03RE/Ex64	
Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03RD/Dx64	
Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03S/Sx64	
Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03E/Ex64	
Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03D/Dx64	
Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	WS03W-32	
Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	WS00S/AS	
Windows Server® NT 4.0 Server	WSNT4S	
Windows® 8 (32-bit/64-bit)	W8	Linux
Windows® 8 Pro (32-bit/64-bit)	W8P	
Windows® 8 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8E	
Windows® 7 Home Premium	W7HP	
Windows® 7 Professional/ Enterprise/ Ultimate	W7P/E/U	
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium	WVHB/HP	
Windows Vista® Business	WVB	
Windows Vista® Enterprise	WVE	
Windows Vista® Ultimate	WVU	
Windows® XP Professional x64 Edition	WXPPx64	
Windows® XP Professional	WXPP	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	RHEL6(x86)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	RHEL5(x86)	
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.4 for x86/v.4 for EM64T)	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.3 for x86)	RHEL ES/AS3(x86)	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.1)	vS5.1	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.0)	vS5.0	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.1 / VMware ESXi 4.1)	vS4.1	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.0)	vS4.0	

サーバ監視ソフト ServerView Operations Managerについて

ServerView Operations Managerは、ServerView Suite(SVS)に格納されているサーバ監視・管理ソフトウェアです。エージェントソフトであるServerView AgentsまたはServerView ESXi CIM Provider(標準添付)と一緒に利用することにより、それぞれ以下の機能を実現します。

[管理サーバ用マネージャソフト]

ソフトウェア名称	ServerView Operations Manager(SVOM)		
利用環境	Windows/Linux/VMware ESX環境	VMware ESXi 4.1環境	VMware ESXi 5.x環境
主な機能	サーバ状態情報表示(SNMP経由)	サーバ状態情報表示(CIM経由)	
	エージェントからのアラーム受信/表示	無し	可
	エージェントからのアラーム受信によるアラームアクションの実行(リモート通報サービスの提供) - インターネットメール送信 - SNMPトラップ転送 - メッセージボックス - プログラム実行 - 接続クライアントへのブロードキャスト - イベントログ記録	無し	可
	エージェントに対する各種設定 - ASR(自動復旧機能)	無し	
	パフォーマンス監視(CPU負荷率/メモリ負荷率等)	無し	
備考	本ソフトウェアは、Windows(Windows Server® 2003以降)またはLinux上にて動作します(VMwareへのインストールは不可)		

- ※VMware ESX/ESXiを含むシステムでSVOMを利用する場合は、別途管理サーバ(Windows/Linux上で動くサーバ、ゲストOSでも可)を準備して下さい。
- ※VMware ESXiのサーバ状態情報表示を行う場合、SVOMはバージョンV5.01.03以降をお使い下さい。
- ※VMware ESXiサーバからのアラーム受信を行う場合、SVOMはバージョンV5.30.06以降をお使い下さい。
- ※リモート通報サービスを行う場合、SVOMはバージョンV5.50.9以降をお使い下さい。
- ※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。また、イベントログにて発生を確認することができます。
- ※VMware ESXi環境で利用する際には留意事項等がありますので、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)内、VMware留意事項を必ずご参照下さい。

[監視対象サーバ用エージェントソフト]

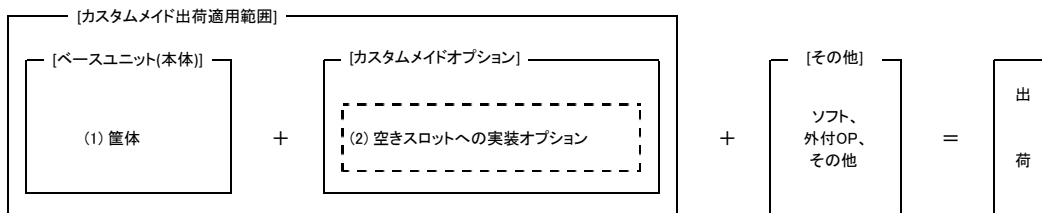
ソフトウェア名称	ServerView Agents	ServerView ESXi CIM Provider	
監視対象サーバ	Windows/Linux/VMware ESXサーバ	VMware ESXi 4.1搭載サーバ	VMware ESXi 5.x搭載サーバ
主な機能	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供(SNMP経由)	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供(CIM経由)	
	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信	無し	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信
	ハードウェアのステータス変更に伴うイベントログ記録	無し	

- ※Windows/Linux/VMware ESX サーバは「SNMPトラップ」によりアラームが送信されます。VMware ESXi 5.xを搭載したサーバは「CIM Indication」によりアラームが送信されます。「CIM Indication」は、SVOMのイベントマネージャでSNMPトラップと同様に扱うことが可能です。
- ※ServerView ESXi CIM Providerについて、留意事項やインストール手順を弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)内、VMware留意事項にて掲載していますので必ずご参照下さい。

カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、CPU/メモリ/ディスク等のオプション をお客様の仕様に合わせて追加し、本体に実装して出荷することのできる形態です。カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について
 カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「ベースユニット(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。それ以外の製品に関しては、製品単位で梱包されて出荷されます。



- [カスタムメイド適用製品一覧]
- (1)ベースユニット(本体)
PRIMERGY本体機種/外付オプション(ETERNUS JX40/PRIMERGY SX05 S1)が対象となります。
 - (2)カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション
PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注:FMVとの共通製品等を除く)。

2. カスタムメイド出荷における注意事項

出荷後の機器に対しOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵ストレージ以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意願います。

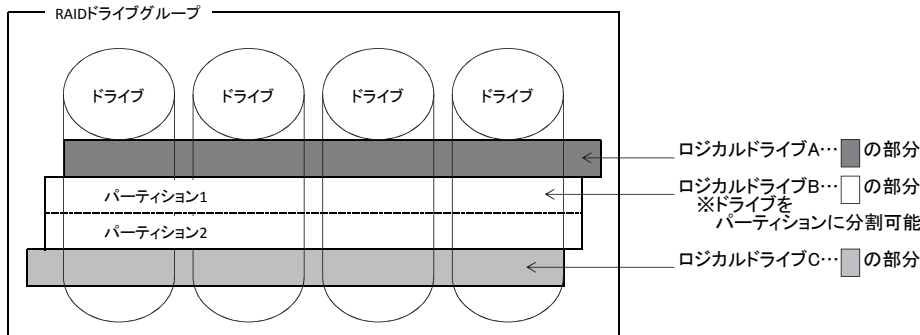
システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

内蔵ストレージ関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

- ・RAIDドライブグループ……1つのRAIDを構成する物理的なストレージの集まり。
- ・ロジカルドライブ……OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション……OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



<構成規則について>

- (1) RAIDドライブグループは、必ず同じ型名の内蔵ストレージで構成して下さい。
- (2) 同一RAIDグループ内のロジカルドライブは、同一のRAIDレベルとなります。
- (3) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定して下さい。
ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (4) 1つのRAIDドライブグループを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書き込む方式)	—	1~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和]
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書き込む方式)	—	2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書き込む方式)	—	4~32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1+0	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書き込む方式)	—	4~16台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書き込む方式)	—	3~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分]
・RAID5+0	(信頼性向上のために、RAID5のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む方式)	—	6~256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1) × ストライピング数]
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し2つのパリティを加えて書き込む方式)	—	3~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分]
・RAID6+0	(信頼性向上のために、RAID6のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む方式)	—	6~256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2) × ストライピング数]

※右記のストレージコントローラにおいては、3台以上でRAID1Eを組むことができます。(PY-SC1L4)

- (5) 1つのストレージコントローラに複数のRAIDドライブグループを作成することが可能です(異なるRAIDレベルも可能)。使用するストレージコントローラごとに作成可能なRAIDドライブグループ数、ロジカルドライブ数が異なります。詳細については、下表をご確認下さい。

ストレージコントローラ	型名	RAIDドライブグループ数	ロジカルドライブ数		
			1RAIDドライブグループ当たり		1カード当たり
			RAID1+0 RAID5+0(*1) RAID6+0(*1)	左記以外のRAIDレベル	
オンボードSATAコントローラ オンボードSATAコントローラ拡張オプション	標準搭載/ PY-RLSE01	4	1	8	8
SASコントローラカード	PY-SC1L4	2	-	2	2
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラモジュール	PY-SR2L2 PY-SRD14/PY-SRD14A	8	1	16	16
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラ拡張ボード	PY-SR2C2/PY-SR2W0 PY-SRD08/PYBSRD081A	8	1	16	64
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラモジュール	PY-SR3C3/PY-SR3C32/PY-SR3C33 PY-SR3PR PY-SRD24/PY-SRD24A	8	16	16	64

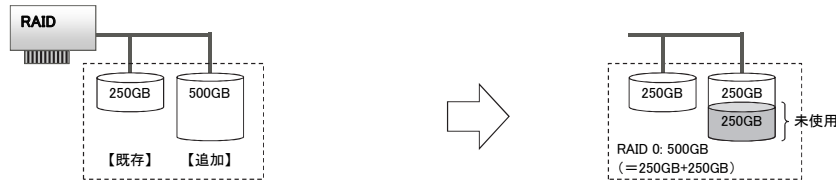
(*1) 構成可能なRAIDレベルは使用するストレージコントローラの仕様に基づきます。

- (6) ホットスペアディスクはディスクグループ中に接続されている同型名の内蔵ストレージで設定して下さい。
異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同型名のホットスペアを最低1台設定する必要があります。

異なる容量のSATAハードディスクドライブ増設時のアレイ構築について

- アレイ構築の際、ディスクグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨していますが、以下の点を留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイ構築が可能です。

(1) RAID0 or RAID1の場合



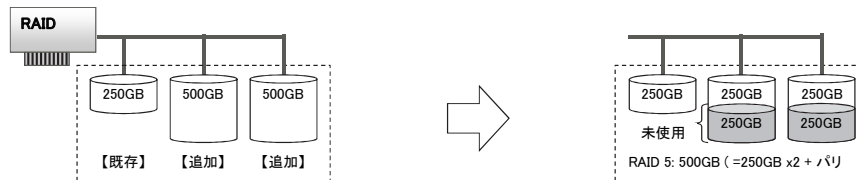
ストレージコントローラの仕様として、アレイを構成するために指定したドライブ中 (RAIDドライブグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。

既存ドライブが250GB、追加するドライブの容量が500GBの場合、追加ドライブ中の250GBのみが、ロジカルドライブとして使用されます。

このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大500GBのロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大250GBのロジカルドライブが構築できます。

追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

(2) RAID5の場合



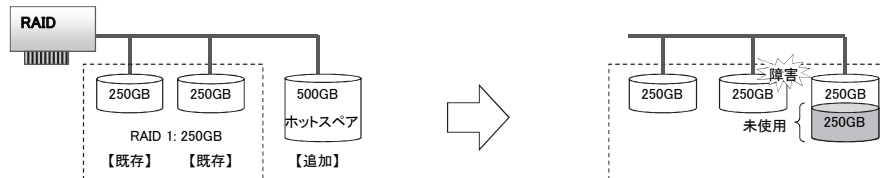
既存ドライブ250GBに、2台の500GBドライブを追加しRAID5を構築する場合も、上記のRAID0, 1を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。

このため、RAID5を指定した場合、最大500GBのロジカルドライブを構築できます。

追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

- 異なる容量のドライブを追加した場合でも、大きな容量のドライブに未使用となる領域ができますが、同一容量のドライブを使用した場合と同様なロジカルドライブを構築することができます。

(3) ホットスペアドライブとして追加した場合



250GBのドライブ2台によるRAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして500GBドライブを設定した場合、障害が発生した際は、スペアドライブ中の250GBを使用してリビルドが行われます。残り250GBは未使用となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

消耗品の扱いについて

以下のストレージコントローラに搭載されているバッテリーは消耗品となります。

寿命の際は、お客様による手配交換となりますのでご注意ください。

本寿命は温度環境が25°Cの場合であり、温度環境によって寿命は変動いたします。

※RAS支援サービスや交換予告通知設定による事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

※バッテリーの交換作業を、お客様に代わって指定のサービスエンジニアが行うサービスとして、「SASアレイコントローラカード/バッテリー交換作業代行サービス」

をご用意しております。

詳細については弊社HP (<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/>) をご参照下さい。

消耗品(バッテリー)搭載アレイコントローラカード			交換用バッテリー		
	型名	寿命	品名	型名	希望小売価格 (税別)
SASアレイコントローラカード	PG-248KL PGB248KL	約3年	⇒	バッテリーバックアップユニット	PG-BBU5 23,000円
バッテリーバックアップユニット [SASアレイコントローラカード搭載用オプション]	PY-BBR01 PYBBBR01 PYBBBR02 PYBBBR03		⇒	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01 23,000円
バッテリーバックアップユニット [SASアレイコントローラカード搭載用オプション]	PY-BBR04 PYBBBR04 PYBBBR05		⇒	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04 23,000円
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PYBBBD02		⇒	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBD02 23,000円

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意ください。使用可能メモリ容量は以下の通りです。
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります。)

OS略称	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
WS12S	(~64)	4TB
WS12D	(~64)	4TB
WS12F	(~1)	32GB
WS12E	(~2)	64GB
SBS11E	(~2)	32GB
WS08RS	(~4)	32GB (*2)
WS08RE	(~8)	2TB (*3)
WS08RD	(~64)	2TB (*3)
WS08RF	(~1)	8GB (*4)
WS08S-64	(~4)	32GB
WS08E-64	(~8)	1TB
WS08D-64	(~64)	1TB
WS08S-32	(~4)	4GB (*5)
WS08E-32	(~8)	64GB
WS08RW	(~4)	32GB
WS08W-64	(~4)	32GB
WS08W-32	(~4)	4GB
WS08RH	(~4)	128GB
SBS08S	(~4)	32GB
SBS08P	(~4)	32GB
RHEL6(Intel64)	~80	2TB
RHEL6(x86)	~32	12GB
RHEL5(Intel64)	~80	1TB
RHEL5(x86)	~32	12GB
vS5.1	160	32GB (*6) / 2TB
vS5.0	160	32GB (*6) / 2TB
vS4.1	128	256GB / 1TB (*7)
vS4.0	64	256GB / 1TB (*7)

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コアCPU、8コアCPU、10コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。()内は物理CPU数です。

(*2) Windows Server® 2008 R2 Standardインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は32GBまでです。

(*3) 物理メモリを1TB以上搭載する場合、Windows Server 2008 R2 SP1を適用して下さい。

SP1を適用できない場合、マイクロソフト社セキュリティ更新プログラムKB980598を適用して下さい。

(*4) Windows Server® 2008 R2 Foundationインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は8GBまでです。

(*5) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)インストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は4GBまでです。

(*6) 無償のライセンスを使用する場合は、最大使用可能メモリ容量は32GBになります。

(*7) 256GBを超える物理メモリを使用する場合は、Enterprise Plus エディションが必要です。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリの動作モードについて

メモリ動作モードには、インディペンデントチャンネルモード、ランクスベアリングモード、パフォーマンスモード、ミラードチャンネルモードの4種類があります。メモリ動作モードの選定でメモリ構成や搭載条件が決められ、性能・動作が変わります。CPU1、CPU2は同じメモリモードで動作します。メモリ構成の詳細はモデルによって異なります。詳細は以下を参照して下さい。

■BX920 S3/TX150 S8/TX200 S7の場合 (※TX150 S8は1CPU構成のみとなります。)

【インディペンデントチャンネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
搭載順	1	4	2	5	3	6

■物理CPU2個構成時

	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
搭載順	1	7	3	9	5	11	2	8	4	10	6	12

【ランクスベアリングモード】

- 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- LV-UDIMMでは使用できません。
- ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- 最小構成: 1チャンネルあたり、Single Rank × 2、またはDual Rank × 2、またはQuad Rank × 1
- 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下となります。

【メモリ使用可能容量】

	UDIMM		RDIMM		LRDIMM
	2GB	4GB	4GB	8GB	16GB
	SR	DR	SR	DR	QR
1DPC	-	-	-	-	-
2DPC	-	-	4GB	12GB	24GB
					56GB

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank

※DPC: チャンネルあたりのDIMM数

【DIMMの搭載順】

<Single Rankメモリ / Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	2	①	①	-	-	-	-
2セット	4	①	①	②	②	-	-
3セット	6	①	①	②	②	③	③

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1						CPU2					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	4	①	①	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-
3セット	6	①	①	③	③	-	-	②	②	-	-	-	-
4セット	8	①	①	③	③	-	-	②	②	④	④	-	-
5セット	10	①	①	③	③	⑤	⑤	②	②	④	④	-	-
6セット	12	①	①	③	③	⑤	⑤	②	②	④	④	⑥	⑥

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	1	①	-	-	-	-	-
2	2	①	-	①	-	-	-
3	3	①	-	①	②	-	②
4	4	①	①	②	②	-	③
5	5	①	①	②	②	③	-
6	6	①	①	②	②	③	③

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

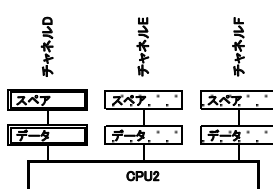
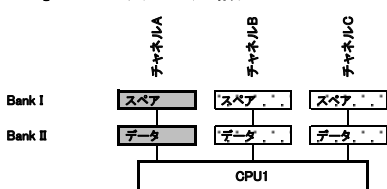
■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1						CPU2					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2	2	①	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-
3	3	①	-	①	-	-	-	②	-	-	-	-	-
4	4	①	-	①	-	-	-	②	-	②	-	-	-
5	5	①	-	①	-	③	-	②	-	②	-	-	-
6	6	①	-	①	-	③	-	②	-	②	-	③	-
7	7	①	④	①	-	③	-	②	-	②	-	③	-
8	8	①	④	①	-	③	-	②	-	②	-	③	-
9	9	①	④	①	⑤	③	-	②	-	②	-	③	-
10	10	①	④	①	⑤	③	-	②	-	②	-	③	-
11	11	①	④	①	⑤	③	-	②	-	②	-	③	-
12	12	①	④	①	⑤	③	-	②	-	②	-	③	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

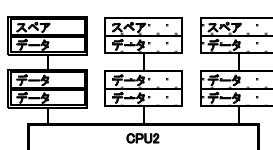
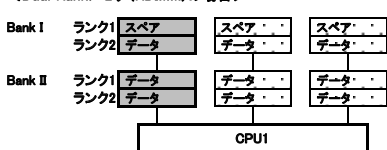
【DIMMの搭載位置】

<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



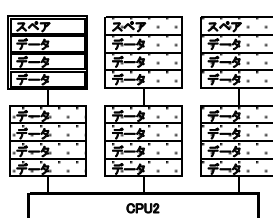
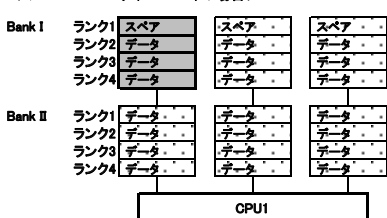
- 1セット目の搭載位置
- 2セット目の搭載位置
- チャンネル内にて同一メモリの搭載必須

<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2セット目の搭載位置
- チャンネル内にて同一メモリの搭載必須

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2セット目の搭載位置
- バンク内にて同一メモリの搭載必須

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3) 最低3枚のDIMMで、同一のDIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、3枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	①	-	①	-	①	-
2セット	①	②	①	②	①	②

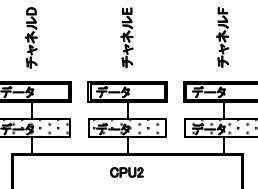
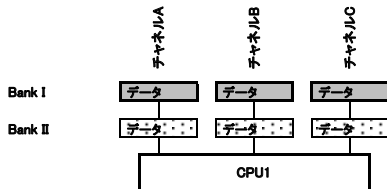
○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	①	-	①	-	①	-	②	-	②	-	②	-
3セット	①	③	①	③	①	③	②	-	②	-	②	-
4セット	①	③	①	③	①	③	②	④	②	④	②	④

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



- 1セット目の搭載位置
- 2セット目の搭載位置
- バンク内にて同一メモリの搭載必須

【ミラードチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) LV-UDIMMでは使用できません。
 - (3) 最低2枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
 - (4) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (5) 1DPC構成のみサポートとなります(DPC:チャンネルあたりのDIMM数)。
- 以下搭載条件の通り、2枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

《BX920 S3》

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	①	-	①	-	-	-

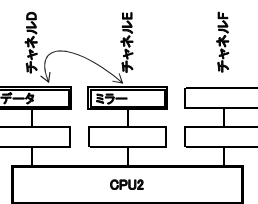
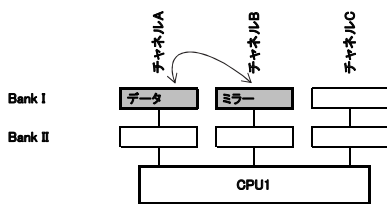
○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	2D	1D	2E	1E	2F	1F
1セット	①	-	①	-	-	-	-	②	-	②	-	-

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



- 1セット目の搭載位置
- 2セット目の搭載位置
- 使用しない

《TX150 S8/TX200 S7》

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	-	-	-	①	-	①

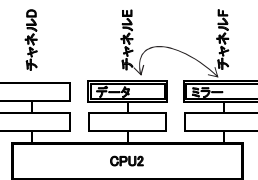
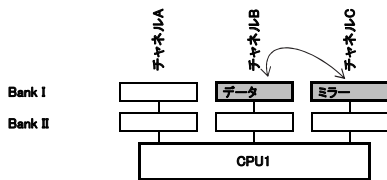
○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	2D	1D	2E	1E	2F	1F
1セット	-	-	-	①	-	①	-	-	②	-	②	-

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



- 1セット目の搭載位置
- 2セット目の搭載位置
- 使用しない

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■BX924 S3/RX200 S7/RX300 S7/RX350 S7/TX300 S7の場合

【インディペンデントチャンネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

＜BX924 S3（インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E-2643選択時）＞

■物理CPU1個構成時

		CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
搭載順		1	5	9	3	7	-	4	8	-	2	6	10

--:メモリ搭載不可

■物理CPU2個構成時

		CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
搭載順		1	9	17	5	13	-	7	15	-	3	11	19	2	10	18	6	14	21	8	16	22	4	12	20

--:メモリ搭載不可

＜BX924 S3（インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E-2643選択時）以外＞

■物理CPU1個構成時

		CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
搭載順		1	5	9	3	7	11	4	8	12	2	6	10

■物理CPU2個構成時

		CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
搭載順		1	9	17	5	13	21	7	15	23	3	11	19	2	10	18	6	14	22	8	16	24	4	12	20

【ランクスペアリングモード】

- 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できません。
- スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- LV-UDIMMでは使用できません。
- ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- Quad Rankメモリの場合、3枚目のDIMMを搭載する際に、1,2枚目と同一チャンネルの3番目のDIMMスロットには搭載せず、次のチャンネルに搭載して下さい。
- 最小構成: 1チャンネルあたり、Single Rank × 2、またはDual Rank × 2、またはQuad Rank × 1
- 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下となります。

【メモリ使用可能容量】

	UDIMM		RDIMM			LRDIMM
	2GB	4GB	4GB	8GB	16GB	32GB
1DPC	-	-	-	-	-	24GB
2DPC	-	-	4GB	12GB	24GB	56GB
3DPC	-	-	8GB	20GB	40GB	88GB

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank

※DPC: チャンネルあたりのDIMM数

【DIMMの搭載順】

＜BX924 S3（インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E-2643選択時）＞

＜Single Rankメモリ / Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合＞

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
2セット	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	②
3セット	7	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	-
	8	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	②
4セット	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②

○内数字: 搭載順、--:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	7	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	10	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	11	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	12	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
5セット	13	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	14	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
	15	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
6セット	16	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
7セット	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
8セット	22	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④

○内数字: 搭載順、--:メモリ非搭載

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2セット	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	5	①	①	-	③	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	-	③	③	-	-	-	-	②	②	-
4セット	7	①	①	-	③	③	-	④	-	-	②	②	-
	8	①	①	-	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2												
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G	
2セット	2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	5	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	7	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	-	-
	8	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
5セット	9	①	①	-	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	10	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
6セット	11	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	-	-	-	-	-	④	④	-
	12	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
7セット	13	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
	14	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
8セット	15	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	-	-	④	④	-
	16	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-	-
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④	-
	21	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④	-
	22	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④	④

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

<<BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E-2643選択時) 以外>>

<Single Rankメモリ /Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	②
	7	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	-
4セット	8	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	②
	9	①	①	①	③	③	③	-	-	-	②	②	②
4セット	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
	11	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②
	12	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2													
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G		
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3セット	7	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4セット	9	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	10	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
5セット	11	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
	12	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④	
	13	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
6セット	14	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④	
	15	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④	
7セット	16	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④	
	17	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④	
8セット	18	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④	
	19	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④	
9セット	20	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④	
	21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
10セット	22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④	④	
11セット	24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	-	④	④	④	

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2セット	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	5	①	①	-	③	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	-	③	③	-	-	-	-	②	②	-
4セット	7	①	①	-	③	③	-	④	-	-	②	②	-
	8	①	①	-	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
	11	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②
	12	①	①	①	③	③	③	④	④	④	②	②	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

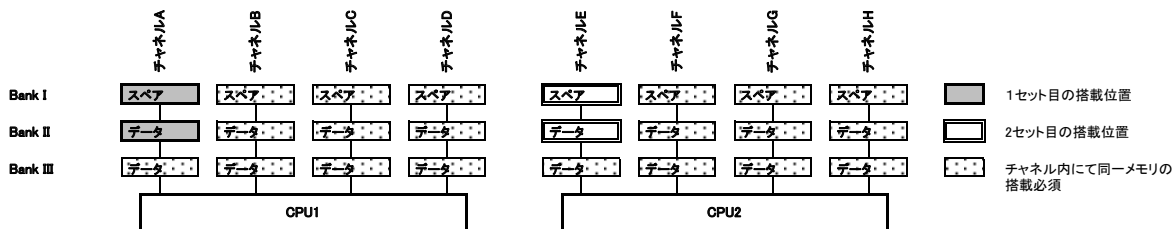
■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2													
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G		
2セット	2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	5	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	7	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5セット	9	①	①	-	⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6セット	11	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7セット	13	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8セット	15	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	-	-	-	-	-	-	-
	16	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	-	-	-	-	-
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	-	-	-	-	-
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	-	-	-	-	-
	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	-	-	-	-	-
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	-	-	-	-	-
	21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	-	-	-	-	-
	22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	-	-	-	-	-
	23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	-	-	-	-	-
	24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④	④	④

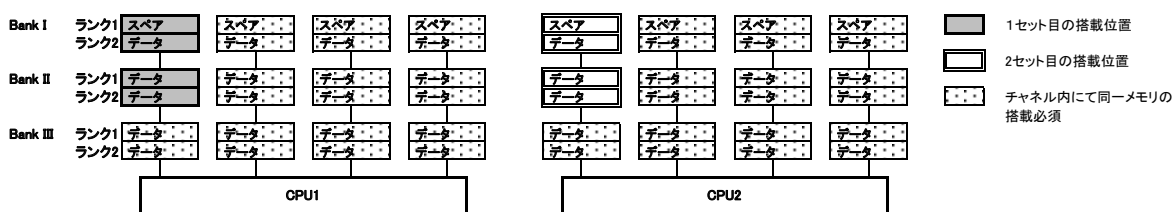
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

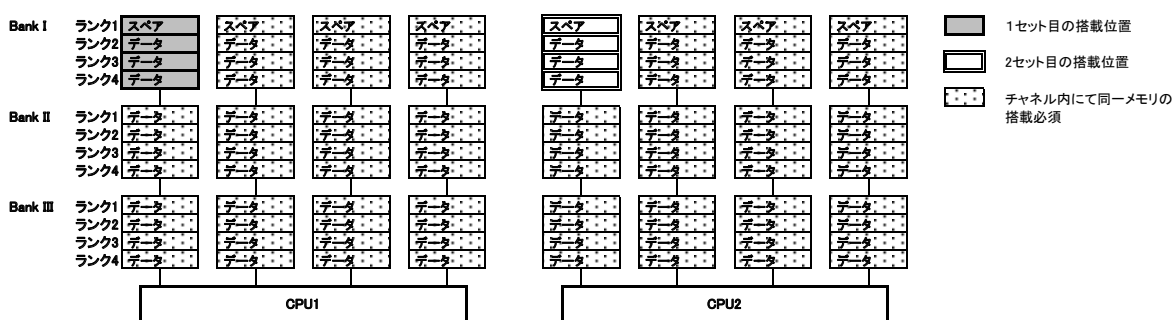
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



留意事項

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3) 最低4枚の同一-DIMMIにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一-DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

≪BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E-2643選択時)≫

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-
2セット	①	②	-	①	②	-	①	②	-	①	②	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	⑤	②	④	⑤	②	④	⑤	②	④	⑤

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

≪BX924 S3 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2690/E-2643選択時) 以外≫

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-
2セット	①	②	-	①	②	-	①	②	-	①	②	-
3セット	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③

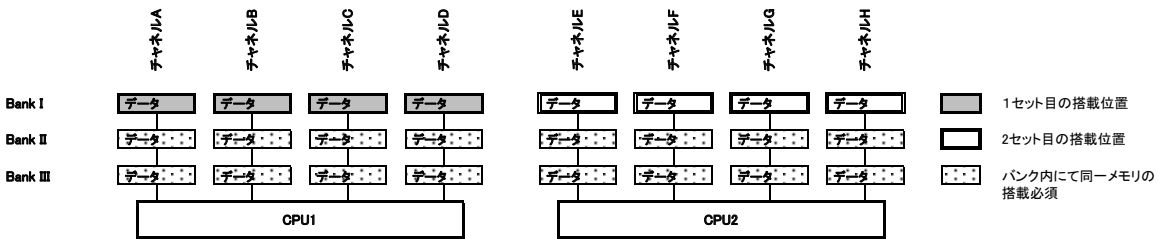
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
6セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一-BANK内である必要があります。
 - (2) LV-DIMMでは使用できません。
 - (3) 最低4枚の同一-DIMMにて構成を組む必要があります。
 - (4) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (5) 1DPC構成のみサポートとなります。(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一-DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1DPC	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-

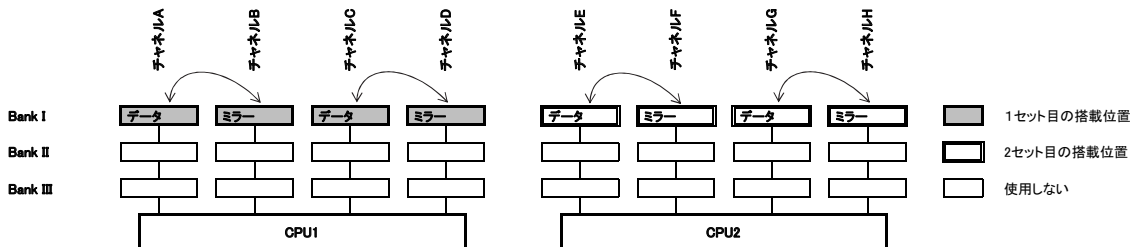
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
1DPC	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■RX500 S7の場合

【インディペンデントチャンネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

Table showing DIMM installation order for 2 CPU configuration. Columns include CPU1 (1A-3C) and CPU2 (1E-3G). Row '搭載順' shows sequence 1, 9, 17, 5, 13, 21, 7, 15, 23, 3, 11, 19, 2, 10, 18, 6, 14, 22, 8, 16, 24, 4, 12, 20.

■物理CPU4個構成時

Table showing DIMM installation order for 4 CPU configuration. Columns include CPU1 (1A-3C), CPU2 (1E-3G), CPU3 (1J-3L), and CPU4 (1N-3Q). Row '搭載順' shows a long sequence of 40 slots.

【ランクスベアリングモード】

- (1) 同一メモリチャンネルの中で、1つのバンクは他のバンクのスペアとして利用できます。
(2) スベアに設定されたバンクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
(3) 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
(4) ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
(5) Quad Rankメモリの場合、3枚目のDIMMを搭載する際に、1,2枚目と同一チャンネルの3番目のDIMMスロットには搭載せず、次のチャンネルに搭載して下さい。
(6) 最小構成:1チャンネルあたり、Single Rank×2、またはDual Rank×2、またはQuad Rank×1
(7) 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下となります。

【メモリ使用可能容量】

Table showing memory capacity for RDIMM and LRDIMM. Columns: RDIMM (4GB SR, 8GB DR, 16GB DR, 32GB QR), LRDIMM (32GB QR). Rows: 1DPC, 2DPC, 3DPC.

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank

※DPC:チャンネルあたりのDIMM数

【DIMMの搭載順】

<Single Rankメモリ / Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU2個構成時

Table showing DIMM installation order for 2 CPU configuration with set counts. Columns include CPU1 (1A-3C) and CPU2 (1E-3G). Rows show set counts from 4 to 24.

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

Large table showing DIMM installation order for 4 CPU configuration with set counts. Columns include CPU1 (1A-3C), CPU2 (1E-3G), CPU3 (1J-3L), and CPU4 (1N-3Q). Rows show set counts from 8 to 48.

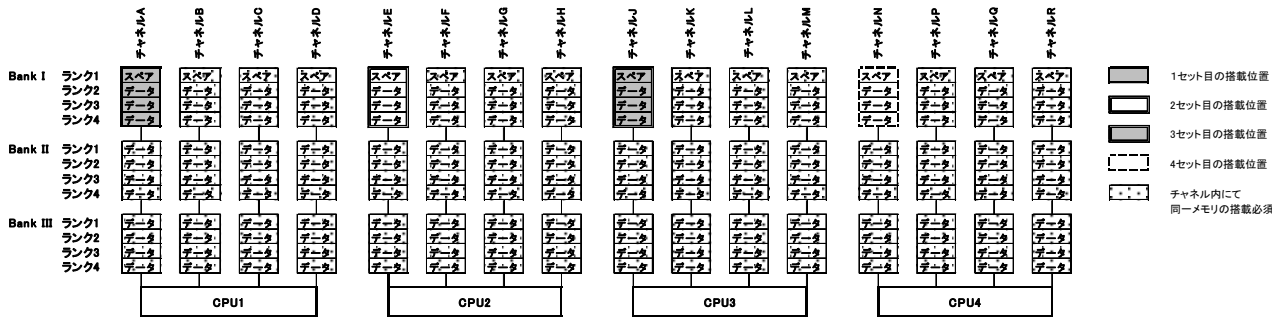
○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

留意事項

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
4セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥
6セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

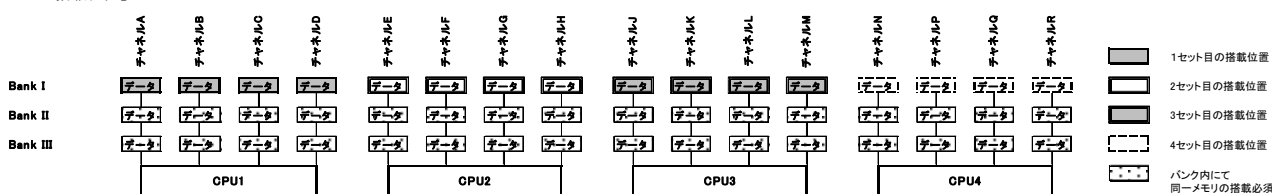
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

セット数	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G	1J	2J	3J	1K	2K	3K	1M	2M	3M	1L	2L	3L	1N	2N	3N	1P	2P	3P	1R	2R	3R	1Q	2Q	3Q
4セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	④	-	-	④	-	-	④	-	-			
5セット	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-
6セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
7セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
8セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
9セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
10セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
11セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
12セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャンネルモード】

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) 最低4枚のDIMMで、同一のDIMMにて構成を組む必要があります。
 - (3) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
- 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
4セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥
6セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

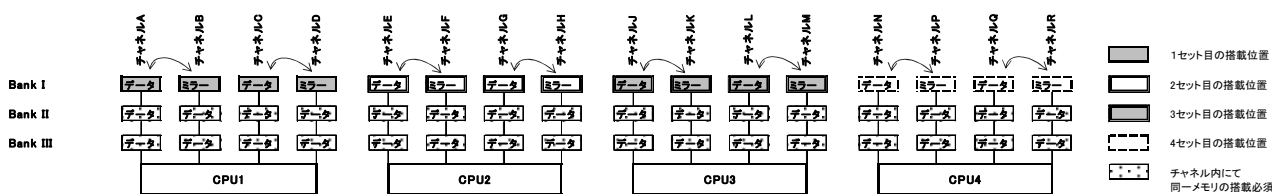
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU4個構成時

セット数	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G	1J	2J	3J	1K	2K	3K	1M	2M	3M	1L	2L	3L	1N	2N	3N	1P	2P	3P	1R	2R	3R	1Q	2Q	3Q
4セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	③	-	-	④	-	-	④	-	-	④	-	-			
5セット	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	①	⑤	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	②	⑥	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	③	⑦	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-	④	⑧	-
6セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
7セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
8セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
9セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
10セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
11セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫
12セット	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	①	⑤	⑨	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	②	⑥	⑩	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	③	⑦	⑪	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫	④	⑧	⑫

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ OS標準バックアップユーティリティ対応表

バックアップ装置 装置型名 規格	適用OS	Windows系										Linux系				
		WS08S/E-32 WS08S/E/D-64		WS08W	WS08RS/E/D		WS08RF		WS08RW		WS08RH	SBS11E	WS12S/D	WS12F	RHEL5(x86) RHEL5(Intel64)	RHEL6(x86) RHEL6(Intel64)
		WindowsServer Backup										Linux Command				
RDX 装置	PY-RD101	RDX2.0	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)	
	PY-RD102		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)	
	PY-RD103		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)	
	PY-RD111	RDX3.0	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*2)		
	PY-RD112		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
LTO 装置	PY-LT301	LTO Ultrium3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)	
	PY-LT411	LTO Ultrium4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)	
	PY-LT511	LTO Ultrium5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)	
DAT 装置	PY-DT201	DAT160	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)	
	PY-DT202		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○(*2)		
	PY-DT101	DAT72	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○(*2)		
	PY-DT102		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)		
	PY-DT103		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○(*1)	○(*2)		

○:対応 ×:未対応 ●:対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)
 (*1) RHEL5.9は未サポート。
 (*2) RHEL6.4は未サポート。

留意事項
 ・OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。性能を重視する場合は、PRIMERGY用バックアップ装置をサポートするバックアップソフトウェアをご使用になることをお勧めいたします。
 ・Windows OSをご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアをご購入ください。
 ・Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar、cpio、ddをご使用ください。
 ・RHEL 5.9/6.4 最新の対応状況については、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>) をご参照下さい。

■ ARCserve for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照下さい。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/arcserve/>)

バックアップ装置 装置型名 規格	適用OS	ARCserve 版数																			
		WS08S/E-32 WS08S/E/D-64			WS08RS/E/D			WS08RF			WS08RW			WS12S/D			WS12F				
		CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5		
RDX 装置	PY-RD101	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	PY-RD102	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	PY-RD103	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×		
	PY-RD111	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○		
	PY-RD112	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○		
LTO 装置	PY-LT301	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○
	PY-LT411	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○
	PY-LT511	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○
DAT 装置	PY-DT201	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×
	PY-DT202	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×
	PY-DT101	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×
	PY-DT102	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×
	PY-DT103	●	●	●	●	●	●	×	×	×	●	●	●	●	×	×	×	×	×	×	×

○:対応 ×:未対応 ●:対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照下さい。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置 装置型名 規格	適用OS NetVault Backup 版数	WS08S/E-32				WS08S/E/D-64				WS08RS/E/D				WS08RF				WS12S/D				WS12F					
		NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	
RDX装置	PY-RD101	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×
	PY-RD102	RDX2.0	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×
	PY-RD103		×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×
	PY-RD111	RDX3.0	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	
	PY-RD112		×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
LTO装置	PY-LT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	PY-LT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	PY-LT511	LTO Ultrium5	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
DAT装置	PY-DT201	DAT160	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	PY-DT202		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	PY-DT101	DAT72	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	PY-DT102		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
	PY-DT103		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	×

○ : 対応 × : 未対応 - : OS組合せなし

■ Backup Exec対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とBackup Execの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とBackup Execの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照下さい。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/symantec/>)

バックアップ装置 装置型名 規格	適用OS Backup Exec 版数	WS08S/E-32		WS08S/E/D-64		WS08RS/E/D		WS08RF		WS12S/D/F			
		Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012		
RDX装置	PY-RD101	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		
	PY-RD102	RDX2.0 (*1)	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
	PY-RD103		○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
	PY-RD111	RDX3.0 (*1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	PY-RD112		×	×	×	×	×	×	×	×	×		
LTO装置	PY-LT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
	PY-LT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	
	PY-LT511	LTO Ultrium5	○(*2)	○	○(*2)	○	○(*2)	○	×	×	×	×	
DAT装置	PY-DT201	DAT160	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
	PY-DT202		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
	PY-DT101	DAT72	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
	PY-DT102		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
	PY-DT103		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×

○ : 対応 × : 未対応 ◎ : 対応 (ただし、弊社提供のUSBドライバの適用必須)

(*1) RDXをまたがるシステムバックアップは未サポート。

(*2) テープをまたがるシステムバックアップは未サポート。

また、シマンテック社提供のデバイスドライバー-DDI20100515以降の適用必須 (Backup Exec 2010 R2, R3をご使用の場合は不要)。

(*3) Backup Exec 2010 R3以降を使用することを推奨。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Linux対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの対応について記します。
 なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照下さい。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置 装置型名 規格		適用OS		RHEL5(x86)					RHEL5(Intel64)					RHEL6(x86)					RHEL6(Intel64)		
		NetVault Backup 版数		NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3
RDX 装置	PY-RD101	RDX2.0	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-RD102		×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-RD103		×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-RD111	RDX3.0	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○		
	PY-RD112		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○		
LTO 装置	PY-LT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-LT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-LT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
DAT 装置	PY-DT201	DAT160	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-DT202		-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-DT101	DAT72	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-DT102		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	PY-DT103		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

○:対応 ×:未対応 -:OS組合せなし

システム構成図留意事項

※ OSにより接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- Windows Server OSについては、ダウングレード/ダウンエディション権があります。Windows Server® 2012 / 2008 R2 / 2008における適用可能な組合せの考え方は下表の通りです。
ダウングレード例: Windows Server® 2012 > Windows Server® 2008 R2 > Windows Server® 2008
ダウンエディション例: Datacenter > Enterprise > Standard

		ダウングレード/ダウンエディション可能な組合せ							
		WS12S	WS12D	WS08RS	WS08RE	WS08RD	WS08S-32/64	WS08E-32/64	WS08D-64
保有 ライ セン ス	WS12S	-	x	○	○	x	○	○	x
	WS12D	○	-	○	○	○	○	○	○
	WS08RS	x	x	-	x	x	○	x	x
	WS08RE	x	x	○	-	x	○	○	x
	WS08RD	x	x	○	○	-	○	○	○
	WS08S-32/64	x	x	x	x	x	-	x	x
	WS08E-32/64	x	x	x	x	x	-	-	x
	WS08D-64	x	x	x	x	x	○	○	-

○:可能、x:不可、-:対象外

- ダウングレード/ダウンエディション権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。

OSをサーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプションの提供方法について

- 選択するOSオプション型名に応じて、インストール/バンドル(OS媒体添付)を選択可能です。
- Windows Server® 2012 / Windows Server® 2008 R2は、64bit版のみの提供となります。
- Windows Server® 2008 は32bit版、64bit版の提供となり、双方の媒体が標準添付されております。

Windows Server® 2008へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2008 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。
- Windows Server® 2008へのダウングレードサービス付き製品
 - 本製品には、Windows Server® 2008 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 (32-bit、64-bit)のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 (32-bit)のインストール作業を代行します。
 - 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2用となります。Windows Server® 2008には使えません。CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2008 (32-bit、64-bit)でも使用することができます。
 - 本製品にはWindows Server® 2008 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server OSメディアキットについて

- Windows Server OSメディアキットは、Windows OSをダウングレード/ダウンエディションして使用する場合に必要となる「インストールメディア/プロダクトキー」です。「メディアキット」にはライセンスは含まれておりませんので、Windows Server OS ライセンスが含まれているWindows Server OS インストール/バンドルオプションと同時にご購入/されるお客様へのみ提供可能となります。「メディアキット」のみでの手配はできません。手配上の、組み合わせ詳細については、「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」をご参照ください。

Windows OSサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したWindowsサポートサービス「SupportDesk」です。専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など)、Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)を行います。提供ラインナップ詳細は下表の通りです。

	SupportDesk Standard(Windows Server)	SupportDesk Standard(Windows Server 仮想化対応)
サービス期間	3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート対象範囲	ホストOS	ホストOS/ゲストOS
ホスト対象OS(*1)	・Windows Server® 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard	・Windows Server® 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard ・Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise ・Windows Server® 2012 / 2008 R2 / 2008 Datacenter
ゲスト対象OS	-	富士通でサポート可能なホストOS/ゲストOSの組み合わせに限る(*2)
サービス内容	・専門技術者によるWindows OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など)	・専門技術者によるWindows OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など)

(*1) サポート可能なOSは使用するサーバのサポートOSに準じます。

(*2) 詳細については、「各OSの仮想化機能について」をご参照下さい。

Windows OS使用時の留意事項について

- サービスプロバイダ様がマイクロソフト社製ソフトウェア製品を利用したサービス(例: ASP/SaaS、アウトソーシング、ホスティング等)を第三者(エンドユーザ様)に提供する場合、「サービスプロバイダライセンス(SPLA)」というライセンス体系が適用されます。そのため、OSをサーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするOSライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品をご利用になる場合には、上記のサービスを第三者(エンドユーザ様)に提供することはできませんので、ご注意ください。ただし、ハウジングサービス(サービス利用者様がOSを資産として所有)において、ご利用になるサーバがサービス利用者様のみの使用である場合に限り、OSをサーバ本体と同時契約し、サーバ本体にインストールまたはバンドルしてお届けするOSライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品のライセンス体系を適用することが可能です。
- OSインストールには、ODDドライブが必要となります。内蔵ODDを搭載しない場合は、複数台システムに最低1台、スーパーマルチドライブユニットを手配する必要があります。
- Windows Server® 2012 / 2008 R2 / 2008 をインストールするためには、33GB以上の論理ボリュームが必要となります。
- その他留意事項に関する最新情報は、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/>)をご確認ください。

Linux関連事項

Red Hat Enterprise Linuxのサポートについて

- ・お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したLinuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- ・オプション提供品のラインナップ詳細は下表の通りです。

	SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)		
	2CPU/1ゲスト	2CPU/4ゲスト	2CPU/ゲスト無制限
サービス期間	1年/3年/4年/5年	1年/3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート範囲	CPU数 (Socket数)	~2	~2
	ゲストOS数	~1	~4
サポートOS(*1)(*2)	・Red Hat Enterprise Linux	・Red Hat Enterprise Linux	・Red Hat Enterprise Linux
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手手続き代行 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手手続き代行 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手手続き代行

(*1) 対象版数については、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照下さい。
 (*2) 仮想環境におけるサポートOSの組合せについては、「各OSの仮想化機能について」をご参照下さい。

- ・サービス内容のより充実した「拡張サポート」「拡張プラスサポート」や、仮想マシン(ゲストOS)単位課金の商品も別途ラインナップしております。詳細はシステム構成図(サービサー一覧)の「SupportDesk StandardにおけるRed Hat Enterprise Linuxのサポートについて」をご参照下さい。

Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションについて

- ・Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションはインストール媒体のみの提供となります。
- ・サブスクリプション(利用権)の同時手配が必要となるため、SupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須となります。(Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションのみでの手配はできません。)
- ・OSはインストールされません。添付のDVD(Install DVD Kit)とServerView Suiteを用いてインストールして下さい。

Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照下さい。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下ようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ(*1)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	12GB	8TB / 16TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	1TB	8TB (*2)
Red Hat Enterprise Linux 6 (for intel64)	2TB	8TB / 16TB (*2)

(*1) ファイルシステム ext3/ext4における最大サイズとなります。ext4は、RHEL6 (for x86/for Intel64)でご使用ください。
 (*2) 8TBを超えて使用する場合は、RHEL6.1 (for x86/for Intel64)以降でご使用ください。ただし、システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

ディスクダンプ機能について

オンボードSATAコントローラ、オンボードSATAコントローラ拡張オプションにてRAID構成で使用する場合のみ、Linuxのディスクダンプ機能は使用できません。
 ディスクダンプ機能を使用する場合は、他のストレージコントローラをご使用いただくか、非アレイ接続(機種により非アレイ接続可否は異なる)にて使用願います。

仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

留意事項

機種名	RHEL5 / RHEL6		
	オンボード (SATA/SAS) コントローラにてアレイ接続時	オンボード (SATA/SAS) コントローラにて非アレイ接続時	左記以外のストレージコントローラ使用時
BX920 S3	×	×	○
BX924 S3	×	×	○
RX100 S7	×	○	○
RX200 S7	×	-	○
RX300 S7	×	-	○
RX350 S7	×	-	○
RX500 S7	×	-	○
RX600 S6	-	-	○
TX100 S3	×	○	○
TX120 S3	×	○	○
TX140 S1	×	○	○
TX150 S8	×	-	○
TX200 S7	×	-	○
TX300 S7	×	-	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

機種名	RHEL5		RHEL6		
	オンボード(SATA/SAS) コントローラ使用時		左記以外のストレージコントローラ		オンボード(SATA/SAS) コントローラ使用時
	アレイ接続時	非アレイ接続時	アレイ接続時	非アレイ接続時	使用時
BX920 S3	×	○	○	×	○
BX924 S3	×	○	○	×	○
RX100 S7	×	×	○	○	○
RX200 S7	×	-	○	-	○
RX300 S7	×	-	○	-	○
RX350 S7	×	-	○	-	○
RX500 S7	×	-	○	-	○
RX600 S6	-	-	○	-	○
TX100 S3	×	×	○	○	○
TX120 S3	×	×	○	○	○
TX140 S1	×	×	○	○	○
TX150 S8	×	-	○	-	○
TX200 S7	×	-	○	-	○
TX300 S7	×	-	○	-	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて

OSオプションの略称、同時手配可能数について

・OSオプションの略称および手配可能数は下表の通りです。OSオプションごとの組み合わせについては、「OSオプションの同時選択可否について」をご参照下さい。

略称		品名		型名	手配可能数					
Windows	インストール	WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2	1	1	4			
		WS12S(Hyper-V)	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2H	1					
	バンドル	WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) バンドル	PYBWBS2	1	3				
		WS12S Add	Windows Server 2012 Standard Additional License(2CPU/2VM) バンドル	PYBWAS2	3					
	インストール	WS12D	Windows Server 2012 Datacenter(2CPU) バンドル	PYBWBD2	1	2				
		WS12D Add	Windows Server 2012 Datacenter Additional License(2CPU) バンドル	PYBWAD2	1					
	バンドル	DCAL	DCAL1	Windows Server 2012 1 Device CAL バンドル	PYBWCD01	4	10			
			DCAL5	Windows Server 2012 5 Device CAL バンドル	PYBWCD05	1				
			DCAL10	Windows Server 2012 10 Device CAL バンドル	PYBWCD10	4				
			DCAL50	Windows Server 2012 50 Device CAL バンドル	PYBWCD50	10				
	バンドル	UCAL	UCAL1	Windows Server 2012 1 User CAL バンドル	PYBWCU01	4	10			
			UCAL5	Windows Server 2012 5 User CAL バンドル	PYBWCU05	1				
			UCAL10	Windows Server 2012 10 User CAL バンドル	PYBWCU10	4				
			UCAL50	Windows Server 2012 50 User CAL バンドル	PYBWCU50	10				
	インストール	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPS8	1	3	3			
		WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise インストール	PYBWBE8	2					
	バンドル	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard バンドル	PYBWBS8	3	2				
		WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise バンドル	PYBWBE8	2					
	バンドル	HPC Enterprise	WS08RH	Windows Server 2008 R2 HPC Edition バンドル	PYBWBH8H	1	2			
			Microsoft HPC Pack 2008 R2 Enterprise バンドル	PYBWBH8E	1					
	バンドル (メディアオプション)	WS08	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard メディアキットバンドル	PYBWBS82	1	4			
			WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise メディアキットバンドル	PYBWBE82	1				
			WS08S	Windows Server 2008 Standard メディアキットバンドル	PYBWBTS8	1				
			WS08E	Windows Server 2008 Enterprise メディアキットバンドル	PYBWBNS8	1				
	インストール	WS08S(DG)	Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard インストール	PYBWPDT8	1	1				
		WS08RF	Windows Server 2008 R2 Foundation インストール	PYBWPFF8	1					
	バンドル	WS08	WS12F	Windows Server 2012 Foundation(1CPU) バンドル	PYBWBFF2	1	1			
			WS12E	Windows Server 2012 Essentials バンドル	PYBWBEB2	1				
			WS08RD(2CPU)	Windows Server 2008 R2 Datacenter (2CPUライセンス) バンドル	PYBWBDB8	1				
			WS08RD(4CPU)	Windows Server 2008 R2 Datacenter (4CPUライセンス) バンドル	PYBWBDB82	1				
			WS08RF	Windows Server 2008 R2 Foundation バンドル	PYBWBFF8	1				
			WS08RH Suite	Windows HPC Server 2008 R2 Suite バンドル	PYBWBH8S	1				
WS08S-32(DG)			Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard バンドル	PYBWBDT8	1					
WS08S-64(DG)			Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard x64バンドル	PYBWBDT82	1					
WS08E-32(DG)			Windows Server 2008 R2 Enterprise ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Enterprise バンドル	PYBWBND8	1					
WS08E-64(DG)			Windows Server 2008 R2 Enterprise ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Enterprise x64バンドル	PYBWBND82	1					
SBS11E			Windows Small Business Server 2011 Essentials バンドル	PYBWBBS11E	1					
SCVMM08R			System Center Virtual Machine Manager 2008 R2 バンドル	PYBWBBS08R	1					
Linux			バンドル	RHEL6	Red Hat Enterprise Linux 6.4 媒体バンドル	PYBLB64		1	2	4
					Red Hat Enterprise Linux 6.3 バンドル	PYBLB63		1		
	RHEL5	Red Hat Enterprise Linux 5.9 媒体バンドル		PYBLB53	1	2				
Red Hat Enterprise Linux 5.8 バンドル	PYBLB52	1								
VMware	バンドル	vS5S	vS5S 1年平日	VMware vSphere 5 Standard, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLS5SD1	4	4 (*1)			
			vS5S 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLS5SA1	4				
			vS5E 1年平日	VMware vSphere 5 Enterprise, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLS5ED1	4				
			vS5E 1年24時間	VMware vSphere 5 Enterprise, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLS5EA1	4				
			vS5EP 1年平日	VMware vSphere 5 Enterprise Plus, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLS5PD1	4				
			vS5EP 1年24時間	VMware vSphere 5 Enterprise Plus, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLS5PA1	4				
	バンドル	vS5SLE	vS5SLE 1年平日	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLS5LD1	1	1			
			vS5SLE 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLS5LA1	1				
			vS5SLE vCen 1年平日	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition with vCenter Foundation, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVLS5CD1	1				
			vS5SLE vCen 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition with vCenter Foundation, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLS5CA1	1				
	OS管理ソフト等	vCen	vCen 1年平日	VMware vCenter Server 5 Standard, 1年間平日サポートバンドル	PYBVLC5SD1	1	1			
			vCen 1年24時間	VMware vCenter Server 5 Standard, 1年間24時間サポートバンドル	PYBVLC5SA1	1				
			vS5 UFM5.1	VMware vSphere Hypervisor 5.1用 USB Flash モジュール	PYBUVF51	1	1			

(*1) 搭載する機器の物理CPU数までの手配となります。

留意事項

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Windows

OSオプション		OSオプション	Windows								
			メディアキット				OS管理ソフト等				
			WS08RS	WS08RE	WS08S	WS08E	UCAL 1/5/10/50	DCAL 1/5/10/50	HPC Enterprise	SCVMM 08R	
Windows	インストール	WS12S	○	○	○	○	○	○	×	×	
		WS12S(Hyper-V)	○	○	○	○	○	○	×	×	
		WS08RS	×	×	○	×	○	○	×	○	
		WS08S(DG)	×	×	×	×	○	○	×	×	
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	
	バンドル	WS12S	○	○	○	○	○	○	×	×	
		WS12D	○	○	○	○	○	○	×	×	
		WS12F	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12E	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12S Add	○	○	○	○	○	○	×	×	
		WS12D Add	○	○	○	○	○	○	×	×	
		WS08RS	×	×	○	×	○	○	×	○	
		WS08S-32(DG)	×	×	×	×	○	○	×	×	
		WS08S-64(DG)	×	×	×	×	○	○	×	×	
		WS08RE	○	×	○	○	○	○	×	○	
		WS08E-32(DG)	×	×	×	×	○	○	×	×	
		WS08E-64(DG)	×	×	×	×	○	○	×	×	
		WS08RD(2CPU)	○	○	○	○	○	○	×	○	
		WS08RD(4CPU)	○	○	○	○	○	○	×	○	
		WS08RH Suite	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08RH	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SBS11E	×	×	×	×	×	×	×	×	
		メディア キット	WS08RS	×	○	○	○	○	○	×	○
			WS08RE	○	×	○	○	○	○	×	○
	WS08S		○	○	×	○	○	○	×	○	
	WS08E		○	○	○	×	○	○	×	○	
	OS管理 ソフト等	UCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	×	×	○	
		DCAL1/5/10/50	○	○	○	○	×	○	×	○	
		HPC Enterprise	×	×	×	×	×	×	×	×	
SCVMM08R		○	○	○	○	○	○	×	×		
Linux	バンドル	RHEL6(*1)	○	○	○	○	○	○	×	×	
		RHEL5(*1)	○	○	○	○	○	○	×	×	
VMware	バンドル	vS5S 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5S 1年24時間	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5E 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5E 1年24時間	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5EP 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5EP 1年24時間	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5LE 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5LE 1年24時間	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5LE vCen 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5LE vCen 1年24時間	○	○	○	○	○	○	×	×	
	OS管理 ソフト等	vCen 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vCen 1年24時間	○	○	○	○	○	○	×	×	
		vS5 UFM5.1	○	○	○	○	○	○	×	×	

○: 同時手配可、×: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Linux/VMware

OSオプション		Vmware																
		RHEL				バンドル										OS管理ソフト等		
OSオプション		RHEL 5.8 (*1)	RHEL 5.9 (*1)	RHEL 6.3 (*1)	RHEL 6.4 (*1)	vS5 1年平日	vS5 1年24時間	vS6 1年平日	vS6 1年24時間	vS6EP 1年平日	vS6EP 1年24時間	vS5LE 1年平日	vS5LE 1年24時間	vS5LE vCen 1年平日	vS5LE vCen 1年24時間	vCen 1年平日	vCen 1年24時間	vS5 UFM5.1
Windows	インストール	WS12S	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
		WS12S(Hyper-V)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
		WS08RS	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
		WS08S(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
		WS08RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
	バンドル	WS12S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12F	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS12S Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08S-32(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
		WS08S-64(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
		WS08RE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08E-32(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
		WS08E-64(DG)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	x
		WS08RD(2CPU)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RD(4CPU)	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RH Suite	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RH	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
		WS08RF	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
	SBS11E	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	メディアキット	WS08RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08E	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OS管理ソフト等	UCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	DCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	HPC Express	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	HPC Enterprise	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
	SCVMM08R	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	
Linux	バンドル	RHEL6.4(*1)	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RHEL6.3(*1)	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RHEL5.9(*1)	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		RHEL5.8(*1)	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
VMware	バンドル	vS5 1年平日	○	○	○	○	○	x	x	x	x	x	x	x	○	x	○	
		vS5 1年24時間	○	○	○	○	x	○	x	x	x	x	x	x	x	○	○	
		vS6 1年平日	○	○	○	○	x	x	○	x	x	x	x	x	○	x	○	
		vS6 1年24時間	○	○	○	○	x	x	x	○	x	x	x	x	x	○	○	
		vS6EP 1年平日	○	○	○	○	x	x	x	○	x	x	x	x	○	x	○	
		vS6EP 1年24時間	○	○	○	○	x	x	x	x	○	x	x	x	x	○	○	
		vS5LE 1年平日	○	○	○	○	x	x	x	x	x	○	x	○	○	x	○	
		vS5LE 1年24時間	○	○	○	○	x	x	x	x	x	x	○	x	x	○	○	
		vS5LE vCen 1年平日	○	○	○	○	x	x	x	x	x	○	x	○	x	x	○	
		vS5LE vCen 1年24時間	○	○	○	○	x	x	x	x	x	x	○	x	x	x	○	
	OS管理ソフト等	vCen 1年平日	○	○	○	○	○	x	○	x	○	x	○	x	x	x	○	
		vCen 1年24時間	○	○	○	○	x	○	x	○	x	○	x	x	x	x	○	
		vS5 UFM5.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	x	

○:同時手配可、x:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須
また、同一版数のバンドル媒体を複数手配することはできません。

図表参照

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションとSupportDeskの同時選択可否について

・OSオプションとハードウェア用SupportDesk、OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります。
(機種により選択可能なOSオプション、SupportDeskは異なります。)

OSオプション		ハードウェア用SupportDesk															OS用SupportDesk																								
		SupportDesk/バックLite (翌営業日以降 訪問修理)					SupportDesk/バックLite (当日訪問修理)					SupportDesk/バック Standard / Standard24 (OSサポートなし)					SupportDesk Standard / Standard24 (Windows Server)					SupportDesk Standard / Standard24 (Windows Server 仮想化対応)					SupportDesk Standard / Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)					SupportDesk Standard / Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)					SupportDesk Standard / Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)				
		3年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	1年	3年	4年	5年	1年	3年	4年	5年	3年	4年	5年													
Windows	インストール	WS12S	○		○			○				○				○						×																			
		WS12S (Hyper-V)	○		○			○				○				○							×																		
		WS08RS	○		○			○				○				○							×																		
		WS08S(DG)	○		○			○				○				○							×																		
		WS08RF	○		○			○				×				×							×																		
	バンドル	WS12S	○		○			○				○				○						○							○												
		WS12D	○		○			○				×				○							○						○												
		WS12F	○		○			○				×				×							×						×												
		WS12E	○		○			○				×				×							×						×												
		WS12S Add	○		○			○				○				○							○						○												
		WS12D Add	○		○			○				×				○							○						○												
		WS08RS	○		○			○				○				○							○						○												
		WS08S-32(DG)	○		○			○				○				○							×						×												
		WS08S-64(DG)	○		○			○				○				○							×						×												
		WS08RE	○		○			○				×				○							○						○												
		WS08E-32(DG)	○		○			○				×				○							×						×												
		WS08E-64(DG)	○		○			○				×				○							×						×												
		WS08RD(20CPU)	○		○			○				×				○							○						○												
		WS08RD(40CPU)	○		○			○				×				○							×						×												
		WS08RH Suite	○		○			○				×				×							×						×												
		WS08RH	○		○			○				×				×							×						×												
		WS08RF	○		○			○				×				×							×						×												
		SBS11E	○		○			○				×				×							×						×												
		メディア キット	WS08RS	○		○			○				○				○						○						○												
			WS08RE	○		○			○				×				×						○						○												
	WS08S		○		○			○				○				○						○						○													
	WS08E		○		○			○				×				×						○						○													
	OS管理 ソフト等	UCAL1/5/10/50	○		○			○				○				○						○						○													
		DCAL1/5/10/50	○		○			○				○				○						○						○													
		HPC Express	○		○			○				×				×						×						×													
HPC Enterprise		○		○			○				×				×						×						×														
SCVMM08R		○		○			○				×				×						×						×														
Linux	バンドル	RHEL6(*1)	×		×			○			×				○						○						○														
		RHEL5(*1)	×		×			○			×				○						○						○														
VMware	バンドル	vS5S 1年平日	×		×			○(*2)			×				○(*2)						○(*2)						○(*2)														
		vS5S 1年24時間	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		vS5E 1年平日	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		vS5E 1年24時間	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		vS5EP 1年平日	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		vS5EP 1年24時間	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		vS5LE 1年平日	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		vS5LE 1年24時間	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		vS5LE vCen 1年平日	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		vS5LE vCen 1年24時間	×		×			○(*2)			×				○(*2)							○(*2)					○(*2)														
		OS管理 ソフト等	vCen 1年平日	×		×			○(*2)			○(*2)				○(*2)							○(*2)					○(*2)													
			vCen 1年24時間	×		×			○(*2)			○(*2)				○(*2)							○(*2)					○(*2)													
			vS5 UFM5.1	○		○			○			×				○							○					○													

○:同時手配可 ×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)との同時手配必須
(*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

留意事項

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります。(機種により選択可能なSupportDeskは異なります。)

Windows用SupportDesk		SupportDesk Standard (Windows Server)			SupportDesk Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
Linux用SupportDesk													
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年							○	○	○			
	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年										○	○	○
	3年										○	×	×
	4年		×			×					×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年							○	○	○			
	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年										○	○	○
	3年										○	×	×
	4年		×			×					×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)	3年										○	×	×
	4年		×			×					×	○	×
	5年										×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

・OS用SupportDeskとハードウェア用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります。(機種により選択可能なSupportDeskは異なります。)

ハードウェア用SupportDesk		SupportDesk/バックLite (翌営業日以降訪問修理)			SupportDesk/バックLite (当日訪問修理)			SupportDesk/バック Standard (OSサポートなし)			SupportDesk/バック Standard24 (OSサポートなし)		
		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
OS用SupportDesk													
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年										○	×	×
	4年		×			×					×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)	3年										○	×	×
	4年		×			×					×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年							○	○	○			
	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト)	1年										○	○	○
	3年										○	×	×
	4年		×			×					×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト)	1年							○	○	○			
	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)	3年							○	×	×			
	4年		×			×		×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限)	3年										○	×	×
	4年		×			×					×	○	×
	5年										×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。
 ※各サーバにて使用可能なOSはサーバ本体のサポートOSに準じます。

・VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、VMwareの製品情報をご確認下さい。
 弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)をご参照下さい。

ゲストOS	ホストOS	WS08S/E/D-64 WS08RS/E/D	WS12S/D	RHEL5 (Intel64) (Xen) (*1)	RHEL6 (Intel64) (KVM)		VMware	
		Hyper-V	Hyper-V	5.1~	~6.1	6.2~	vS4	vS5
Windows	WS12S	SPなし (*2)	SPなし	×	×	確認中	×	○
	WS12D	SPなし (*2)	SPなし	×	×	確認中	×	○
	WS12F	×	×	×	×		×	×
	WS12E	SPなし (*2)	SPなし	×	×	確認中	×	○
	WS08RS	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	×	×	○	○	○
	WS08RE	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	×	×	○(*6)	○	○
	WS08RD	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	×	×	○(*6)	○	○
	WS08RF	×	×	×	×		×	×
	WS08S-32/64	SPなし/SP2 (*3)	SPなし/SP2	×	×	○	SPなし/SP2	SPなし/SP2
	WS08E-32/64	SPなし/SP2 (*3)	SPなし/SP2	×	×	○(*6)	SPなし/SP2	SPなし/SP2
	WS08D-64	SPなし/SP2 (*3)	SPなし/SP2	×	×	○(*6)	SPなし/SP2	SPなし/SP2
	WS08F-64	×	×	×	×		×	×
	WS08RW	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	×	×	○	×	×
	WS08W-32/64	SPなし/SP2 (*3)	SPなし/SP2	×	×	○	×	×
	WS08RH	SPなし (*3)	×	×	×	○	×	×
	WS08H-32	SPなし/SP1 (*3)	×	×	×	○	×	×
	WS03RS/Sx64	SP2 (*4)	SP2	×	×	○	SP2	SP2
	WS03RE/Ex64	SP2 (*4)	SP2	×	×	○(*6)	SP2	SP2
	WS03RD/Dx64	SP2 (*4)	SP2	×	×	○(*6)	×	×
	WS03S/Sx64	SP2 (*4)	SP2	×	×	SP2	SP1/SP2	SP1/SP2
	WS03E/Ex64	SP2 (*4)	SP2	×	×	SP2 (*6)	SP1/SP2	SP1/SP2
	WS03D/Dx64	SP2 (*4)	SP2	×	×	SP2 (*6)	×	×
	WS03W-32	SP2	SP2	×	×	SP2	×	×
	WS00S/AS	×	×	×	×		SP3/SP4 (*7)	SP4 (*7)
	WSNT4S	×	×	×	×		×	×
	W8	SPなし (*2)	SPなし	×	×		×	○
W8P	SPなし (*2)	SPなし	×	×		×	○	
W8E	SPなし (*2)	SPなし	×	×		×	○	
W7HP	×	×	×	×		○	SPなし/SP1	
W7P/E/U	SPなし/SP1 (*3)	SPなし/SP1	×	×		○	SPなし/SP1	
WVHB/HP	×	×	×	×		SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2	
WVW/E/U	SP2 (*4)	SP2	×	×		SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2	
WXPPx64	SP2 (*4)	SP2	×	×		SP2	SP2	
WXPP	SP2 (*4)	SP3	×	×		SP1/SP2/SP3	SP1/SP2/SP3	
Linux	RHEL6(x86/Intel64)	×	×	×	○		○	○
	RHEL5(x86/Intel64)	×	×	~5.x (*5)		5.3~	○	○
	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	×	×	4.6~		4.8~	4.3~	×
	RHEL ES/AS3(x86)	×	×	×		3.9~	×	×

○: サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります) ×: サポート対象外を示す。

(*1) ホストOS版数に5.4以降を使用する場合は、Intel64を使用ください。

(*2) Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2008 の Hyper-V のゲストOSとして Windows 8 もしくは Windows Server 2012 をお使いになる場合は、KB-2744129 を適用いただく必要があります。詳細はMicrosoft社の情報をご確認下さい。

Microsoft社 HP(<http://support.microsoft.com/kb/2744129>)

(*3) 1,2,4CPUで動作可能となります。

(*4) 1,2CPUで動作可能となります。

(*5) ゲストOS版数は、ホストOS版数のマイナーバージョンまでとなります。(例: ホストOSがRHEL5.4の場合、ゲストOSはRHEL5.4までが使用可能です。)

(*6) KVM上のWindowsゲストでは、MSCS(Microsoft Cluster Server) / MSFC(Microsoft Failover Cluster)を使用したクラス構成はサポート対象外となります。

(*7) Windows Server® 2000 Advanced Server を除く。

システム構成図で紹介するWeb情報

分類内容	内容/URL
PRIMERGY情報サイト	http://jp.fujitsu.com/primergy/
PRIMERGYコンフィグ(システム構成ツール)	製品ラインナップからモデルを選択し「構成・価格」ボタンからコンフィグに入り、構成部品を選択するだけで、構成リストと価格がExcel形式で出力できます。 http://jp.fujitsu.com/primergy/
ServerView Suite ServerView Suite DVD	システムの構築、制御、最適化、保守、連携を行う、サーバ運用管理の総称です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/ サーバ運用管理はDVD2枚で提供され、新製品のサポートや不具合修正などで定期的に更新されます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/
オプション選択指針 SATA HDDの選択・使用条件 USBメモリを必要とする作業	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/
OSのサポート情報、動作確認情報 Windows Linux VMware 未サポートOS情報	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html
ダウンロード	最新のソフトウェア/ドライバやBIOS/ファームウェアがダウンロードできます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/
ラック情報	19インチラック関連情報や他社製ラックへの搭載などの情報です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
技術情報 性能情報 消費電力計算ツール	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/technical/calculate/
サポート情報 重要なお知らせ 製品保証ご案内 製品の販売終息と保守終了情報 セキュリティ情報	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/note/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/repair.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/ http://www.fmworld.net/biz/security/
サービス情報 運用・保守サポート SupportDesk (PRIMERGY) ハードウェア組み込みサービス インフラ基本導入サービス	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html
マニュアル	ServerView Suite DVD2 (ServerBooks) に主要なマニュアルが格納されています。 また、モデル個別マニュアルやオプションマニュアルなどが別途あります。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/
消耗品、データメディアの購入	DATテープ、データカートリッジ http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/supply/media/

